

津久見市の小児医療・小児保健の向上を目指して

# こどもの病気対策法⑨③

## ● ワクチンでB型肝炎を予防しましょう ●

津久見中央病院 小児科 植田 里枝子

新年度がスタートし、皆さんそれぞれ進級や入園入学など新しい生活をおくつていらっしゃるでしょう。津久見市でも今年の4月から予防接種に関する新しい取り組みが開始されました。その予防接種は「B型肝炎ワクチン」です。

B型肝炎ワクチンは、世界的にみても多くの国が定期接種を行っている非常に重要な予防接種です。日本でも今年10月からB型肝炎ワクチンの定期接種が始まります。それに先立って、津久見市では、2歳未満の乳幼児を対象に接種料金の一部助成を受けられることとなりました。国の定期接種では1歳未満のお子さんのみが対象となる予定ですので、1歳の誕生日を過ぎたお子さんや、10月まで待たずに接種を希望する生後2か月以上の乳児は、今回の津久見市の助成制度を利用できます。

や出産時の母子感染が多いのですが、家庭内での感染、接触プレーの多いスポーツを行う時、乳幼児の集団生活の場での感染も起こります。日本でも、過去に保育所での集団感染や高校生の運動部内での感染の報告がありました。感染すると、一部の人は急性肝炎を発症し、また一部では慢性肝炎の状態で経過することもあります。肝炎のあと、肝硬変や肝がんを発症することもあります。

感染を予防するためには、ワクチンを接種することが非常に重要です。

今回の津久見市の助成制度に関しては、対象者や対象期間など詳細な基準があります。津久見市ホームページを確認していただくか、市役所やかかりつけ医院に問い合わせをされるとよいと思います。また、規定の医療機関での接種のみ助成対象となりますので、その点もしっかりご確認ください。

まだ接種をされていない方はこのチャンスに是非B型肝炎ワクチンを接種しましょう。

### B型肝炎の接種回数と間隔

回数:3回接種  
間隔:1回目と2回目は4週間あけて  
3回目は1回目から20-24週



下記のすべての実施医療機関では、自己負担額なしで接種することができます。



#### 実施医療機関

医療機関名	電話番号
小宅医院	82-2015
津久見中央病院	82-1123
大石医院	82-2014
小田クリニック	82-0280
金田医院	82-2881
秋岡医院	82-2617